

# 第 69 回富士登山競走実施に係る主な変更点及びイベント内容

## 1. 五合目コース馬返関門設定について

第 69 回大会より、五合目コースにおける馬返での関門（スタートから 2 時間）を設定。

（理由）

五合目コースの参加資格については、ハーフマラソン程度の体力・経験を持つ者といった程度で、初参加者に配慮した形での資格要件に留めております。このことにより、著しく遅いランナーでも、五合目ゴール制限時間である 3 時間 30 分を経過しなければレースを中止してもらうことをランナーへ指示することができません。

過去 2 年の五合目コース参加者の記録を確認すると、スタートから 2 時間を経過して馬返を通過したランナーは、3 時間 30 分以内にゴールへ辿りつけず、全員が途中リタイアをしており、救護の側面においても安全なレース運営を行うためには、タイム計測を行っており、且つ救護係員が待機している馬返にて関門を設けることが最善であることとして、救護を担当するメディカル部会や競技主管である富士吉田市陸上競技協会との協議のもと設定するものです。

※参考

第 67 回大会五合目コース参加者において、馬返をスタートから 2 時間以上かかって通過した人数は 6 人、第 68 回においては 3 人であり、その全てのランナーは五合目ゴールに辿りつけずリタイアしており、そのうち数名が救護を要する状態でした。山中での救護対応になるため、救護係員による担架での搬送や、選手の肩を支えながら下山を行う必要があり、大変な負担となっておりました。

昨年年第 68 回大会時の申し送りとして、救護活動を行っている富士吉田市立病院医師から、馬返での関門設定を行うよう指示を受け、富士吉田市陸協との協議の上、馬返関門について設定するものです。

## 2. 山頂コース参加資格基準の変更について（第 67 回大会より変更継続）

**変更** ⇒ 下表のとおり、第 69 回大会においては、第 66 回大会において 2 時間 30 分以内の者もしくは第 67 回、68 回大会のいずれかにおいて 2 時間 25 分以内の実績のある者とします。

第 70 回大会においては、第 67 回、68 回、69 回大会のいずれかにおいて 2 時間 25 分以内の実績のある者とし、以降、その例によるものとします。

回数	山頂コース参加資格要件（五合目関門通過時間）
第 69 回	第 66 回大会 2 : 30 以内、第 67、68 回大会いずれか 2 : 25 以内
第 70 回	第 67、68、69 回大会いずれか 2 : 25 以内

（理由）

- これまで、山頂コースの参加資格は五合目関門通過時間が 2 時間 30 分以内であることを必要としていました。一方、山頂コースの五合目関門制限時間は、スタート（7 : 00）から 2 時間 20 分（9 : 20）となっており、10 分の時間差がありました。これは、スタート時に前方に位置する選手と後方に位置する選手との時間差を見込んだもので、後方からスタートする選手に時間的な補填を行うものでした。

第 66 回大会においてスタート線の通過について実測したところ、先頭から最後尾までは 4 分程度の時間差でした。よって、関門制限時間と参加資格の時間の

差をこれまでの 10 分から 5 分に短縮し、山頂コースの参加資格を、五合目関門通過時間が 2 時間 25 分以内であることとします。

なお、五合目コースについても同様に、五合目ゴール時間が 2 時間 25 分以内の者が、山頂コース参加資格を有するものとします。

これは、真に五合目関門制限時間をクリアできる実力を備えた者のみに、次回の山頂参加資格を与えようとするもので、関門制限時間の実効性のある運用により、山頂コースについて、その競技性をより明確にするものです。

### 3. 山頂コース関門時間の変更について（第70回大会より）

**変更** ⇒ 2 時間 15 分（⇒ 2 時間 20 分）

（理由）

○山頂コースにおける五合目関門時間は、スタートから 2 時間 20 分以内となっております。67 回大会での山頂コース選手のリザルトを分析すると、2 時間 15 分から 2 時間 20 分間に五合目を通過した選手の中で、完走できた人数は 16 人、未完走者が 300 人以上となっております。

つきましては、六合目以上の登山者数の削減による火山災害対策の対応として、また、富士登山競走山頂コースのアスリート化を推進することを目的として、第 70 回大会より山頂コース五合目関門時間を 2 時間 20 分から 5 分短縮し、2 時間 15 分とします。

### 4. 前日イベントについて（富士北麓公園内・外）

#### ○ ウォーキングイベント

現在、日本国内のウォーキング人口は 4000 万人と非常に多く、手軽に出来、対象年齢層の幅が広いことが増加のきっかけとなっております。

そこで、前日イベントとして過去 3 回開催したウォーキング内容を参考に、本年も前日イベントとしてウォーキングイベントを開催する予定です。

コースについては吉田口登山道を使用し、登山道の歴史・文化に触れながら歩く「歴史探訪ウォーキングイベント」として開催する予定です。

#### ○ グルメイベント（B級ご当地グルメ in 富士吉田）

食のイベントとして集客力があるため、継続したイベントとすることで市民の関心を惹き、市民も参加しやすい大会づくりを目的として、本年についても開催したいと考えております。大会当日のみの開催を予定しております。

#### ○ 足型測定会

H26に初めて開催し、H27も開催したところ2日間で134人という大変好評な催しであったため、今年においても開催する予定です。当日のみ開催の予定です。